競　技　注　意　事　項

１．競技は2018年日本陸上競技連盟規則及び本大会要項・競技注意事項による。

1. サブトラックは特にないので、競技役員の指示に従って周囲等を利用することができる。ただし、投てき練習は禁止する。
2. レーン順、フィールド試技順は、プログラム記載の通り行う。次のラウンドのレーンは、番組の編成で決め、本部室玄関脇に掲示する。
3. 招集に関して

(1) 招集所は、100ｍスタート付近とする。招集所から競技場への移動は、係員の指示に従うこと。

(2) 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前とする。また、招集開始は、招集完了15分前とする。

(3) 招集完了時刻に遅れた場合は、棄権したものとする。

５．競技者は、規定のナンバーカードをユニフォームの背と胸につける。ただし、跳躍競技は背または胸の片側だけでよい。小学生・一般のナンバーカードは受付で配付する。競技終了後、必ず受付に返却すること。

６．トラック競技について

(1) 一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

(2) スタート合図は、英語（イングリッシュ・コマンド）とする。ただし、小学生のスタート合図は、日本語合図とする。

(3) 写真判定のため、トラック競技については、腰ナンバー標識を右腰に付けること。中学・高校生の800ｍ以下の競技は各団体のものを使用すること。中学・高校生の1500ｍ以上のレース、および小学生・一般は招集所にて配付する。競技終了後、競技役員に返却すること。

(4) 中学・高校・一般の100ｍ、200ｍ、400ｍ、800ｍ、100ｍＨ、110ｍＨ、4×100ｍＲの予選はタイムレースとし、上位８名で決勝を行う。その他の種目はタイムレース決勝とする。

(5) 中学・高校・一般の800ｍは階段式スタートとし、第１曲走路（ブレイクライン）通過後オープンコースとする。小学生の800ｍはオープンスタートとする。

(6) 棄権者が多く、招集完了時において８人に満たないときは、予選を行わず、決勝のみ行う。

　　(7) リレーオーダー用紙は、招集完了時刻の１時間前までに競技者係に提出すること。予選のオーダー用紙は、団体の受付時に配付する。決勝のオーダー用紙は、受付に置くので取りに来ること。（大会運営上、早い時間帯から提出していただけると助かります。ご協力をお願いいたします。）

　　(8) リレーの出場者は同一のユニフォームを着用する。ただし、同一のユニフォームがそろわない場合は、事前に大会総務に申し出ること。

７．フィールド競技について

(1) 高さの競技のバーの上げ方は、審判員が決定する。

(2) 棒高跳のポールは各自のものを使用する。

(3) 投てき競技で持参した用器具は、招集前に必ず用器具検定係の検定を受けること。

(4) 投てき競技の試技数を少なくすることもある。

(5) 中学男女の砲丸投は、予選を行う場合がある。その際の予選通過ラインは男女とも9ｍ00とする。予選３投の中で9ｍ00を超えた時点で決勝に進出できる。ただし、決勝進出者が12名に満たない場合は、予選の３投のうち記録のよい者を加えて、12名で決勝を行う。

８．各種目の１位は選手権章、２位・３位には賞状を授与する。小学・中学種目に限り、４位から８位にも賞状を授与する。なお、開・閉会式は行わない。

９．リレーおよび走高跳のマーカーは、各自のものを使用する。

10．スパイクは、長さ９mm以下、直径４mm以下でなければならない。シンダー用スパイクの使用は、競技場施設構造より禁止する。

11．その他

(1) 競技中に生じた傷害・疾病については、主催者は応急手当のみ行い以後の責任は負わない。

(2) 予選における呼び名アナウンスは行わないこともある。

　(3) 参加者（団体）から出たゴミは必ず持ち帰ること。

(4) 競技場設備等に不具合が発生し、修復不可能になった場合は、その後予定している種目を

中止する場合がある。

(5) プログラムに記載のない事項については、当日総務より連絡する。

(6) 参加申込後、種目変更・キャンセルはできません。参加料の過剰・重複入金の返金はしません。荒天・地震・風水害等により大会中止の場合、及び参加申込受付後の参加料の返金はしません。

　(7) ＡＥＤ設置箇所・・・「大会本部室」「Ｂ＆Ｇ体育館事務室」

(8) 医療機関・・・「中条中央病院」胎内市西本町12-1　℡0254-44-8800